

## 二ひきのよくばりこぐま v. 2

### ■人形■

- ・ 母さんぐま
- ・ こぐま兄
- ・ こぐま弟
- ・ きつね

### ■背景■

- ・ 森
- ・ 家
- ・ おしまいボード

### ■小道具■

- ・ 食べ物2つ
- ・ チーズ
- ・ 袋
- ・ ナイフ

| 1



□舞台中央奥に森 下手に家

語り 「[上手に立つ] 昔…深い森の中に [3匹のくまを出しながら] お母さんぐまと二匹の子ぐまの親子が住んでいました…子ぐまたちは広い世の中を見るため旅に出ようと思いました…それを知ったお母さんは子どもたちにいいました…」

母ぐま 「それじゃあお前たちにお弁当をあげようね…はい… [こぐまに食べ物を持たせる] …そうそう…お前たちに一つだけ言っておくことがあるよ…どんなことがあっても兄弟仲良く、けんかをするんじゃないよ…けんかをすれば必ず損をすることになるからね…」

こぐま兄「大丈夫…ぼくたち仲よしだからけんかなんかしないよ」

こぐま弟「うん けんかなんかしないよ…絶対…」

母ぐま 「それでは気をつけていっておいで…」

語り 「[人形たちと家を背景に隠して] 二匹のこぐまは元気よく旅にでかけました…旅を続けているうちにお母さんにもらったお弁当を食べてしまいました [上手に二匹のこぐまを出し]」

こぐま弟「兄ちゃん…ぼくもう歩けないよ…おなかすいちゃった





…」

こぐま兄「ぼくだって同じだ…腹がへってもう死にそうさ」

語り 「それでも二匹は歩き続けました…すると [チーズを出す]  
道の真ん中に黄色い大きな丸いものが落ちていました」

12

こぐま兄「あの黄色いのはなんだろう?…」

こぐま弟「いいにおいがするねえ… [二匹近づいて]」

こぐま兄「これはチーズだよ…」

こぐま弟「大きいねえ…」

こぐま兄「よしそれじゃあ ぼくが二つに分けよう…」

こぐま弟「そうって兄ちゃんが大きい方をとるんだろう」

こぐま兄「なにいつてるんだ…ちゃんと同じに分けるよ」

こぐま弟「やっぱりいやだ… [上手から大きな袋をもったキツネ登  
場]」

きつね 「おやおや…かわいいこぐまちゃんたち…何をそんなに怒  
っているのかい?」

こぐま兄「きつねさん…きいてよ…ぼくたちここで大きなチーズを  
見つけたんだ…これから旅を続けるので二人で仲良く半  
分に分けようと思ったのに…ぼくが大きいほうを取るっ  
てこいつがいうから…」

こぐま弟「だって絶対お兄ちゃんが大きい方をとるんだもん」

こぐま兄「そんなことしないっていったらろう… [と、やりあうと  
きつねが仲裁しながら]」

きつね 「おやおや…そんなことだったの…それならおばさんにま  
かせておくれ…上手にわけてあげますよ…わたしはよく  
切れるナイフをもっているからね…ほら [袋からナイフ  
を出して見せる]」

こぐま兄「大きなナイフ…でもちゃんと同じおおきさにしてよね」

こぐま弟「絶対だよ…」



分割①

きつね 「だいじょうぶ だいじょうぶ…まかせておくれ…ちゃん  
とやるよ…どれ… [チーズにのって] ほんとに大きいねえ  
…どこから切ろうかねえ…迷ってしまうよ…では…ゴシ  
ゴシゴシ…ゴシゴシゴシ… [二つに切る①] ほら切れた…  
どうだいぴったり同じだろう…? [こぐまたちに見せる]」

こぐま兄「あっ…大きさが違うよ…」

こぐま弟「同じにしてよー」

きつね 「えーっそうかい…みんな…どうだい? ほら…同じだろ  
う? [観客に見せる] 違う?どっちが大きいの?…こっ  
ち?そうかねえ… [こぐまに向かって] ごめんごめん…  
では小さい方はこの袋に入れて… [袋に入れる] ではや  
り直し…今度こそちゃんと切るからね…それゴシゴシゴ  
シ… [二つに切る②] ほら切れた…どうだい今度はぴっ  
たり同じだろう…? [こぐまたちに見せる]」

こぐま兄「あれっ…今度も大きさが違うよ…」

こぐま弟「同じにしてよー」

きつね 「えーっそうかい…みんな…どうだい? 今度は同じだろ  
う? [観客に見せる] 違う?どっちが大きいの?…こっ  
ち?そうかねえ… [こぐまに向かって] ごめんごめん…  
またしくじったね…では小さい方はこの袋に入れて…  
[袋に入れる] 今度はよーく測って…それゴシゴシゴシ  
… [二つに切る③] ほら切れた…どうだいぴったり同じ  
だろう…? [こぐまたちに見せる]」

こぐま兄「だめだよ…今度も大きさが違うよ…」

こぐま弟「同じにしてよー」

きつね 「えーっそうかい…みんな…どうだい? 今度は同じだろ  
う? [観客に見せる] 違う?どっちが大きいの?…こっ  
ち?そうかねえ… [こぐまに向かって] ごめんごめん…



分割②



分割③



分割④

またしくじったね…では小さい方はこの袋に入れて…

[袋に入れる] 年のせいか目がよくみえないんだよ…困ったねえ…それゴシゴシゴシ… [二つに切る④] ほら切れた…これでどうだい…? [こぐまたちに見せる]

| 4

こぐま兄「だめだよ…今度も大きさが違うよ…」

こぐま弟「きつねさん 同じにできないじゃないか」

きつね 「みんな…どうだい?今度こそ同じだろう? [観客に見せる] 違う?どっちが大きいの?こっち? [小さい方を袋に入れ、こぐまに向かって] お前たち…もうだめだ…わたしにはこれ以上は分けられないよ…後は二人ですきなようにわかるこったね…ナイフはサービスでかしてあげる…ではさようなら…? [大きな袋を担いで上手に去る]」

こぐま兄「あーあ…きつねさんいっちゃった」

こぐま弟「お兄ちゃん…おなかすいたよー」

こぐま兄「わかった…ぼくがチーズをわけてもいいのかい？」

こぐま弟「うん…いいよ」

こぐま兄「文句をいわない？」

こぐま弟「いわない」

こぐま兄「では…わかるよ [チーズを分ける] …はい…小さくなっちゃったね」

こぐま弟「うん…でも ぼくたちにちょうどいい大きさだよ」

こぐま兄「そうだね…お母さんのいったとおり これからはほんとうに兄弟仲良くしようね」

こぐま弟「うん…」

語り 「二ひきのよくばりこぐまはそれからは兄弟仲良く旅を続けていきましたとき…おしまい [おしまいボードを出す]

